

対話でつくる 市民の幸せ

鶴岡市長候補者

皆川おさむ

みなかわ



私も応援しています。
山形県知事 吉村美栄子

「DEWAビジョン」で 鶴岡を前へ!

皆川市政3期目に向けて打ち出した選挙公約「DEWAビジョン」は、対話で、若者・女性・子育て世代に選ばれる、住民主体の街づくりを進め、誰一人取り残さず、市民の幸せをつくる、鶴岡を前に進める羅針盤です。

市民が主役! 4つの基本理念

D 誰もが活躍できる多様性 (ダイバーシティ)の鶴岡市

平成の大合併から20年。障がいのある人もない人も、性別にかかわらず、外国人も含めて、多様な6つの地域からなる鶴岡市全体で、市民の力を結集して市民党の市政を前に進めて行きます。

E 市民が主役! 住民主体の 公正性(エクイティ)の鶴岡市

多様な市民の幸せのために働く、不偏不党の市役所への原点回帰。相手によって差別しない、排除しない。また、障害となっているものを取り除き、能力を発揮できるよう機会を公平にする市役所を目指します。

W 多様性の中で一層女性(ウーマン)、 若者(ワカモノ)が活躍する鶴岡市

市の部長級、審議会の女性比率は3割超。市役所のみならず、地域、企業等の意思決定にもっと女性が参画。子育てしやすい、働きやすい、住みたい、移住したい街、鶴岡を私たちの手でつくります。

A 農業(アグリカルチャー)など一次産業、 自然・歴史・文化を未来に継承する鶴岡市

成長を牽引する製造業、バイオ、観光によって、鶴岡市は大きく成長します。在来作物の種をつなぐ新プロジェクトを立ち上げるなど、一次産業と共生する街、料理人が世界中から訪れる街、鶴岡市をつくります。

選択 1

多様な市民と対話するリーダーを選ぶ

東北一広い、多様な市民が暮らす鶴岡市の持続的発展には、市民の声を聴き、違いを越えて団結する市民党の市政が必要。また、住民主体のまちづくりを深く理解し、実行できる市民目線のリーダーが不可欠。鶴岡市には、対話と協働のリーダーが必要です。

証紙
スペース



鶴岡市長候補者

皆川おさむ
みなかわ

「DEWAビジョン」で
鶴岡を前へ!

政策は、過去・現在・未来。課題をしっかりとみつめ、現状をいかに改善し、未来を切り拓いていけるか。対話で、市民目線で、情熱と判断力で、数々の実績を生み出してきた政策の皆川おさむ。鶴岡をもっと前に。

皆川治

「DEWAビジョン」実行のための3つの重点政策

県内トップ (6,800億円) の製造業が牽引し、一人当たり所得は県内2位324万円に。この伸び行く経済を、市民の豊かさを支える地場鶴岡産業の消費に向かわせる、すなわち農林漁業、観光業、食文化、サービス業などを支える経済政策を進めます。地域への更なる投資を呼び込みつつ、成長分野から生み出された付加価値によって、鶴岡の歴史や、文化、伝統的な産業を守る、成長の好循環をつくる、地域循環型経済・鶴岡モデルを確立します。

① 経済を前へ 県内トップ 9.9%成長の鶴岡を更に前へ

15ha新たな産業用地の開発 羽黒山午年御縁年・加茂水族館リニューアル
食文化 種を守るSCP (シード・コミュニケーション・プロジェクト) を創設
国採択 22億円地方創生 ガストロノミック・イノベーションを推進

② 暮らしを前へ 誰ひとり取り残さず命と暮らしを守る

高校生までの医療費の無償化を継続 地域包括ケア・重層的支援体制構築
読書のまち 学び 出会い 育つ みんなでつくる つるおか図書館
学校給食費の無償化を継続 食と農を結ぶ創造都市・発祥の地 新学校給食センター

③ 対話の市政を前へ

合併20周年 多様な6つの地域が共に発展するまちづくり
市民党 対話と住民主体のまちづくり 対立を越えて平和をつくる

確かな実績と広がる未来

これまでの実績、50の施策を含む「DEWAビジョン」は
公式ホームページから!



市長給与 1期目、2期目に続き、 3割カットを継続!

選 択
2

政策の実行力のあるリーダーを選ぶ

市長には、政策をつくる力と同時に、その実行力が問われます。「できない」と言われていた旧ホテル雷屋を、略式代執行によって、国の補助を受け、費用を抑え撤去。また、旧鶴岡病院も、県と連携して撤去し、人工芝の多目的グラウンドの整備へ。鶴岡市には、市民のための政策を実行できるリーダーが必要です。

《プロフィール》

- 昭和49年10月3日 山形県鶴岡市生まれ
- 大泉小、鶴一中、鶴岡南高、宇都宮大学農学部卒
- 平成9年 農林水産省入省
- 平成26年 農林水産省退職 故郷の鶴岡へUターン
- 東北公益文科大学特任講師(平成26年5月～29年3月)
- 平成29年10月 鶴岡市長就任(現在2期目)



皆川治 選挙事務所

〒997-0042 山形県鶴岡市新形町9番13号
TEL(0235) 26-0747・FAX(0235) 26-0748
E-mail : osamuminakawak@gmail.com

皆川おさむ後援会
最新情報はこちら



SNSはこちらから